



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東
 コード番号 2708 URL http://www.kuze.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)後藤 明彦 (TEL)03(3987)0018
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	15,341	3.6	△36	-	12	△89.3	10	△88.1
29年3月期第1四半期	14,809	△10.3	72	-	115	-	89	-

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 286百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △0百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2 88	-
29年3月期第1四半期	23 56	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	19,140	5,512	28.8
29年3月期	19,130	5,270	27.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,512百万円 29年3月期 5,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0 00	-	12 00	12 00
30年3月期	-				
30年3月期(予想)		0 00	-	12 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	2.1	100	△50.3	150	△40.0	100	△41.7	26 36
通期	63,500	3.1	600	5.5	670	1.0	490	0.5	129 14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	3,882,500株	29年3月期	3,882,500株
30年3月期1Q	181,073株	29年3月期	181,073株
30年3月期1Q	3,701,427株	29年3月期1Q	3,807,327株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境が堅調に推移し緩やかな景気回復基調となったものの、個人消費におきましては実質賃金が伸び悩む中、節約志向は続いており、依然として楽観視できない状況が続いております。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第3次C&G中期経営計画」（平成27年4月～平成30年3月）の最終年度として、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化、プロセスを重視した提案営業体制の一層の整備と推進、システムの導入をはじめとする物流業務の品質改善・効率化による物流費の削減を進め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は153億41百万円（前年同期比3.6%増）、営業損失は36百万円（前年同期は72百万円の営業利益）、経常利益は12百万円（前年同期比89.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10百万円（前年同期比88.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努めるとともに効率性を意識した営業を推進し、品質面や機能面、価格面で競争力のある商品の提案営業を行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、物流環境の変化への対応としてセンター運営の自社化や在庫の適正化、車輛台数の削減などの課題に対応し、全般的な効率化に取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は143億23百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1億7百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。引き続きキスコブランド商品の販売強化と新商品の開発、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は10億22百万円（前年同期比4.3%減）、セグメント利益（営業利益）は81百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は36百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加し、191億40百万円となりました。これは主として現金及び預金が70百万円、受取手形及び売掛金が5億27百万円、流動資産その他が49百万円減少し、商品及び製品が2億76百万円、投資その他の資産のその他が3億85百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ2億32百万円減少し、136億27百万円となりました。これは主として賞与引当金が1億47百万円、固定負債のその他が1億5百万円増加し、未払金が1億54百万円、未払法人税等が1億45百万円、長期借入金が1億86百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億42百万円増加し、55億12百万円となりました。これは主として利益剰余金が33百万円減少し、その他有価証券評価差額金が2億58百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の27.5%から28.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,982	3,911
受取手形及び売掛金	6,974	6,447
商品及び製品	2,101	2,378
原材料及び貯蔵品	234	223
その他	743	694
貸倒引当金	△39	△34
流動資産合計	13,996	13,620
固定資産		
有形固定資産	2,255	2,262
無形固定資産	162	156
投資その他の資産		
その他	2,819	3,205
貸倒引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	2,715	3,101
固定資産合計	5,133	5,520
資産合計	19,130	19,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,021	9,044
短期借入金	180	180
1年内返済予定の長期借入金	965	892
未払金	904	750
未払法人税等	175	29
賞与引当金	268	415
その他	353	395
流動負債合計	11,870	11,710
固定負債		
長期借入金	1,260	1,074
役員退職慰労引当金	172	176
退職給付に係る負債	204	209
資産除去債務	80	81
その他	271	376
固定負債合計	1,989	1,917
負債合計	13,860	13,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	291
利益剰余金	4,248	4,214
自己株式	△151	△151
株主資本合計	4,690	4,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	527	786
繰延ヘッジ損益	1	4
為替換算調整勘定	65	76
退職給付に係る調整累計額	△15	△12
その他の包括利益累計額合計	579	855
純資産合計	5,270	5,512
負債純資産合計	19,130	19,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	14,809	15,341
売上原価	12,003	12,464
売上総利益	2,806	2,876
販売費及び一般管理費	2,733	2,912
営業利益又は営業損失(△)	72	△36
営業外収益		
受取事務手数料	17	16
受取配当金	16	19
物流業務受託収入	9	9
その他	22	26
営業外収益合計	65	71
営業外費用		
支払利息	4	3
持分法による投資損失	—	1
物流業務受託収入原価	13	15
その他	4	3
営業外費用合計	21	23
経常利益	115	12
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	116	12
法人税、住民税及び事業税	43	33
法人税等調整額	△16	△31
法人税等合計	27	1
四半期純利益	89	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	89	10

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	89	10
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	258
繰延ヘッジ損益	3	3
為替換算調整勘定	△49	10
退職給付に係る調整額	△3	2
その他の包括利益合計	△90	275
四半期包括利益	△0	286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△0	286
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	13,738	1,068	2	14,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	33	39
計	13,744	1,068	36	14,848
セグメント利益	190	112	28	331

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	331
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△259
四半期連結損益計算書の営業利益	72

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	14,315	1,022	3	15,341
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	—	33	40
計	14,323	1,022	36	15,382
セグメント利益	107	81	25	214

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	214
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△253
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△36

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。